

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町 39 番 7 号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

http://nsskk-kobeshoten.org/ FAX (078) 361-4539

口座振替 01110-2-10517

## 2018年2月 顕現節

### キリストの栄光と受難

あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者 (マルコ 1 : 11)

これはわたしの愛する子。これに聞け (マルコ 9 : 7)

司祭 ミカエル 小南 晃

今、私たちは教会暦において顕現節という季節にいます。この顕現節で覚えようとしている意味は主イエス・キリストにおける神の栄光の現れです。その顕現節ですが、今年は2月半ばに終り、2月14日(水)に大齋始日を迎えて大齋節に入ることとなります。

#### 天からの声

主イエス・キリストにおいて神の栄光が現れているのは受肉、降誕、十字架、復活とその全生涯においてですが、顕現節第1主日には主イエスの洗礼と天から聖霊が降った出来事を覚えます。

そして顕現節の最後の主日、大齋節前主日には主イエスの山上での栄光の姿への変容を覚えます。この最初と最後の両主日に読まれる福音書に共通のものがあります。それは天からの声です。

今年、顕現節第1主日・主イエスの洗礼の日に読まれたのは、マルコによる福音書1章7節以下ですが、その11節では『あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者』という声が、天から聞こえた」と記されていました。

そして大齋節前主日の福音書

はマルコ9章2節以下ですが、そこにはイエスの姿が変わり、服は真っ白に輝き、そして7節に「雲が現れて彼らを覆い、雲の中から声がした。『これはわたしの愛する子。これに聞け』」と記されています。

#### 栄光から受難へ

イエスに対する、天からの神ご自身の「わたしの愛する子」という宣言は、まさに神の子としての栄光の顕現と言えますが、この声の後のイエスの運命も似た道を辿ることになります。それは栄光とは程遠く思える苦難の道でした。

イエスは受洗と天からの声の後、荒野に赴き、40日40夜断食して後、飢えながら悪魔の誘惑という試練に遭われ、それに打ち勝たれました。大齋節の40日はこのイエスの荒野での試練に因むものです。そして山上でのイエスの栄光の姿への変容と天からの声の後、イエスはエルサレムでの十字架の死という受難の道を歩み始めることになるのです。

主イエス・キリストの、この世における神の子としての栄光は試練・受難と不可分なのです。

#### あなたは私の愛する子

天から神はイエスのことを「あなたはわたしの愛する子」、「これはわたしの愛する子」と宣言されました。これは神の独り子である主イエス・キリストだからこそかけられた言葉です。しかし同時に私たちもその主イエス・キリストを通して神の子とされ、神から一人ひとり「あなたはわたしの愛する子」と呼びかけられている存在なのです。それは永遠の命という栄光が約束されている存在です。

しかしここでも忘れてはならないのは、私たちにおいても、この世にあって神の栄光と試練・受難は不可分だということです。

イエスは弟子たちに「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい (マルコ 8 : 34)」と告げられました。そしてこの言葉は今も私たちに語りかけられているものです。その主イエス・キリストのみ言葉に感じられるように共に祈りたいと思います。

#### 大齋節前主日特祷

神よ、あなたはその独り子の受難の前に、聖なる山の上でみ子の栄光を現わされました。どうかわたしたちが、信仰によってみ顔の光を仰ぎ見、自分の十字架を負う力を強められ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

#### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
" 9時15分 教会学校  
" 10時30分 聖餐式・説教  
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
土 午前10時30分 教会掃除  
(ご奉仕をお願いします)